

2018年3月30日

省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度
『ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017』において
『特別優秀賞』と『特別優秀企業賞』をW受賞

株式会社LIXIL住宅研究所
フィアスホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性の優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2017」において、フィアスホームの『arietta(アリエッタ)』及びフィアスホームが、下記の通り受賞しましたのでお知らせします。

◆受賞内容◆

カンパニー名	フィアスホーム
受賞名 商品名	特別優秀賞 「arietta(アリエッタ)」 ＜受賞対象地域＞3-6 地域※
特別表彰	特別優秀企業賞

※ 省エネルギー基準による地域区分

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO₂削減等に貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現に貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



今回、各賞を受賞したフィアスホームは、断熱性・気密性に優れた躯体性能をベースに、独自の通風・創風・採光などのパッシブエネルギーの活用、無駄な電気の使用を抑えるためのHEMSや蓄電池などの提案を行っており、住まい手が快適に過ごせる工夫を取り入れた住まいづくりに取り組んでいます。

LIXIL住宅研究所は、今後も、商品やサービスを通じて、安心・安全で健康・快適に暮らせる住生活の未来に貢献します。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(チギラ)
電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com
フィアスホームホームページ/TOP URL:<http://www.fiace.jp/>

【参考】フィアスホーム

特別優秀賞「arietta(アリエッタ)」(3-6 地域)

『arietta(アリエッタ)』は、北海道基準をクリアする最高水準の断熱・気密性能をベースに、風や光などの自然エネルギーを活かす工夫を盛り込み、未来へと永く住み継がれる住まいを目指しています。

●建物外皮・設備機器について

樹脂系断熱材と構造用パネルを一体化させたオリジナルの『粘震+eパネル』で建物全体を囲うことで、北海道基準をクリアする最高水準の断熱性能を実現。さらに、付加断熱によりUA値※0.30W/m²・Kという欧州の高い基準に並ぶ断熱性能を実現した商品もラインアップしています。

また、気密性能の自社基準をC値(隙間相当面積)1.0cm²/m²以下と定め、全棟測定を実施したところ、実物件の平均値は0.47cm²/m²で、基準を上回る実績となりました。暖冷房や換気設備等の設備機器には、太陽光発電システムや地中熱を利用したヒートポンプ式エアコンなどの再生可能エネルギーを活用する住まいを提案しています。

※UA値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています。北海道基準は0.46。

●多様なエネルギー手法の導入について

自然の力を活かして快適に過ごせる『パッシブ設計』を取り入れました。通風では、全居室2面開口や、複数の形状の窓を組み合わせることで大きな通風効果を得られる窓「フル3Dウィンドウ」、袖壁の内側に入った風を屋内に取り込むウィンドキャッチ提案などを採用。また、軒の出を深くすることで、夏季には日差しや熱気の進入を抑え、冬季には日差しをたくさん取り込みます。

●省エネルギー住宅普及への取り組み

フィアスホームは、ZEHビルダー登録事業者として2020年度までのZEH住宅普及目標を50%以上と掲げ、省エネ住宅の普及に取り組んでいます。2016年度は5%の目標を大きく上回る10%達成しました。さらに、設計段階での省エネ効果を年間光熱費・一次エネルギー消費量削減率(ZEH適合判定)に置き換えて提案する「eレポート」や、施工した建物の気密・断熱・燃費性能を数字・グラフで見えるようにした「性能報告書」を邸別に用意。性能を見える化してお客様に提供しています。



<フィアスホーム「arietta(アリエッタ)」外観>



<「eレポート(左)」と「性能報告書(右)」>



<袖壁によるウィンドキャッチ提案>

